

第336回 大阪大学神経科学懇話会

日時：平成28年1月13日（水） 18:00 – 19:00

場所：医学部臨床研究棟 3階 セミナー室

演者：広常 真治 教授

大阪市立大学 大学院医学研究科 細胞機能制御学



演題：中枢神経系の形成における微小管、

モータータンパク質の制御

要旨：

中枢神経系の形成は神経幹細胞の分裂と神経細胞への分化、さらには神経細胞の遊走の過程が緊密に連携して行われています。これらの過程では細胞骨格、中でも微小管とモータータンパク質の制御、再編が重要な役割を果たしています。一方でそれらの機能にかかるタンパク質の変異はさまざまな中枢神経系の形成不全、神経細胞変性疾患の原因となっています。我々は神経細胞遊走の障害によって起こる滑脳症の研究に取り組んできました。中でもモータータンパク質である細胞質ダイニンとその制御因子であるLIS1の研究からスタートしました。一連の研究過程でLIS1は細胞質ダイニンを微小管上にアイドリング状態に保持する機能があり、細胞質ダイニンの細胞内局在、神経細胞遊走時の神経核の微小管への結合に必須であることを明らかにしてきました。今回のセミナーでは細胞質ダイニンの細胞内でのリサイクルのメカニズムと、我々が発見した従来の細胞骨格とは異なった機能を持つ微小管の構成と機能について最近の研究を紹介したいと思います。

※本講演は、医科学修士課程系別セミナーとして単位が認定されます

連絡先：大阪大学 医学系研究科 解剖学講座(神経機能形態学) 佐藤 真(内線3221)